



当院は「日本内科学会認定医教育病院」です。

○総合内科 勤務医師紹介

役職	医師名	卒業大学名	卒年	取得資格及び得意分野
副院長	近藤 盛彦	島根大学	S62	医学博士、日本内科学会認定内科医、日本心血管インターベンション治療学会指導医、京都府立医科大学臨床教授 日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医
診療部長	桂 敏明	千葉大学	H5	日本内科学会認定内科医
医長	宮川 徹	大阪市立大学	H12	日本内科学会認定内科医 日本プライマリケア学会認定医・指導医 ICD認定医 日本化学療法学会抗菌科学療法認定医
医員	野崎 高史	九州大学	H17	日本小児科学会専門医 医学博士 日本プライマリケア学会認定医・指導医 日本内科学会認定内科医
医員	日下 聡	福岡大学	H20	
専攻医	比森 千博	岐阜大学	H25	
専攻医	花山 亜沙	帝京大学	H26	

◎当院の総合内科(診療)とは

当院の内科は日本内科学会の認定医制度に基づく教育病院の指定を受けており、新専門医制度にも対応しております。神戸市北区エリアを中心とした基幹病院として、地域医療を担う病院として、また高度な専門医療が提供出来る病院としての役割を担っています。平成26年度より総合診療を目指す総合内科(診療)を立ち上げました。総合内科は、患者さんを総合的かつ全人的に診察すると共に、受診診療科が不明慮な患者さんや複数の疾患を抱える患者さんの窓口として機能しています。症状から特定の診療科を決めるのが困難な場合にも対応しています。

診断のプロとして横断的な広い知識を持ち合わせ、患者さんの症状を聞きながら、どのような治療が必要かを見極め、患者さんの立場より診療を行います。診療を行う上で、専門性の高い治療や検査を必要とする際には、専門医と連携し健康を第一に考えた対応を行います。

当院では、総合内科以外にも血液内科、腎臓・透析内科、内分泌糖尿病内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科等の専門医、指導医が在籍しており、内科系疾患全域において診療体制が整っております。発熱、腹痛、咳・痰、頭痛などの他、健康診断で異常を指摘された際など、予防医学の観点からも受診頂いています。

◎外来診療状況

総合内科外来では、初診の患者さんはもちろんの事、担当医師の専門分野を生かした予約診療も行っております。総合内科として広く症例を担当する中、個々の医師の得意分野(感染症や循環器診療等)を生かした診療にも定評があります。ジェネラリストでありながらも専門分野を活かす、当院の総合内科は個々の医師の特性を生かしているといえるでしょう。他の診療科との垣根も低く、相談のしやすさも特徴の一つです。毎週月曜日には総合内科を中心に研修医カンファレンスを開催しています。



## ◎勤務医からのコメント

通常、規模の大きな病院であれば、専門的な診療を行います。当院の総合内科は、循環器・呼吸器・消化器科・神経内科と専門の診療科を設置しておりますが、糖尿病、透析、血液内科等の内科分野の症例を網羅する体制です。外来は、2診制にてかかりつけ医の役割を果たしながら、合併症を持つ患者さんに対する総合的な診療までを担います。高齢化社会となり、複数の疾患を併せ持つ患者さんも増加傾向である事より、総合的な診療スキルを身に着けたい、経験を積みたいとお考えの方には、最適な環境といえます。また内科領域として、ICUの管理、化学療法、緩和ケアに携わる事も出来ます。勤務内容は、それぞれの医師の目指す方向性により、比重と業務量を考え、カスタマイズする為、多少異なりますが、可能な限り希望を取り入れています。

## ◎勤務状況はいかがですか？

外来診療は、週1～2コマ担当、外来数は40～50名(再診者・投薬のみも含む)、病棟管理は1名あたり10名程度を担当頂きます。また、それぞれの医師が、専門分野である血液外来、透析外来や糖尿病外来と、独自のスペシャリティを発揮する専門外来も担当して頂けます。当直業務は他科同様、平均して月2回程度となります。若手で意欲のある医師は、回数を増やしているケースもありますが、公平に割り振っています。夜間のオンコールについては、当直医師が内科・外科の2名体制であることより、基本は当直医師にお任せする形となります。どうしても主治医でなければならぬ際に、相談のコール等が行われております。



## ◎勤務内容を医師に合わせてカスタマイズ出来る強み。

総合内科といえば、なんでもやられる診療科というイメージをお持ちの方がいるかもしれません。多くの大病院では、診療科ごとに専門特化される傾向にあり、専門分野の治療しか診療出来ないといった偏りが問題視されつつあります。そんな中、複数の臓器にまたがる複数の疾患を抱える多くの方々に対し、併発する疾患をトータルに診療できる環境が揃っています。またすべての診療科が研修認定を受けていることより、当院にて、専門分野を構築しながら、また活かしながら、これまでのスキルをブラッシュアップして頂ける環境があります。

一例ですが、総合診療科に所属しながらも、循環器内科と血液内科診療に取り組む医師も勤務しています。経験を積みたい分野を相談しながら、イメージした医師像に近づいてください。

## ◎求める医師像とは？

ご自身の専門を活かしながら、内科医として幅広い症例を経験されたい先生には、ご年齢問わずご勤務頂ける環境があります。

もともとは京都府立大学の関連病院ではありますが、医局派遣の他、一般公募にて入植された方も多く、派閥を感じる事なく過ごして頂ける環境です。外科系など他科との連携もよく、診療科の軋轢がないのが自慢です。医局の雰囲気も良く、相談し易い環境もあります。

当院の場合、専門分野を学びたい医師も、専門分野に限らず総合内科を網羅したい医師も、それぞれの希望を取り入れた、勤務内容を考えていますので、ご自身の目指している医師像に近い働き方を選択することができます。それぞれの分野に専門医が配置されており、専門医取得に励んでおられる医師も沢山おります。過去にも、開業を目標にされ、当院にて経験を積み、夢を実現させられた方も多くおられます。出来れば、一緒に長く勤務頂ける医師をと思うのですが、それぞれに目指すべき医療がある事を理解しながら、可能な限りの協力をおしませ働きやすい環境作りに努めています。